

平成 20 年度「夏野菜プロジェクト」

青果物健康推進協会

事務局長：近藤卓志

背景

野菜の消費は伸び悩んでいる。また、好天続き等で野菜の収穫量が増加した場合など、価格の大幅な低下を招くことがあり、場合によっては産地廃棄を実施する品目、産地などがある。

そのようなことにならないためにも特定の品目についてシーズン前から集中的に消費を喚起し、未然に防ぐことが重要と考える。

実施品目

夏場のキャベツ、レタス、ニンジン

概要

上記の品目についてスーパー、小売店の店頭などで生活者に対して「簡単に作れて」「野菜がいっぱい食べられて」「ユニークで」「美味しい」のに加え、暑い夏を乗り切るための「涼しくなるメニュー」の提案を行うことで、消費を喚起させる。

7月から8月まで、店頭に「のぼり」を立て、レシピを配布することで、キャベツ、レタス、ニンジンの食べ方提案を行う。また、店舗によってはベジフルティーチャー等を配置し、試食プロモーションを実施する。

製作資材

- ① のぼり→タテ 400mm×ヨコ 105mm ののぼり。キャッチコピー「冷房ほどほど クールベジ」と中央に大きく書いてあり、上部には食事バランスガイド、下部にはレタス、ニンジンを使った料理写真と夏野菜を配置。全体的に水色とグリーンを基調とし、涼しいイメージののぼり。
- ② レシピ集→主婦層をターゲットにしており、同世代のベジフルティーチャー（専任の野菜講師）の中でコンテストをして決定したレシピを掲載。キャベツ・レタス2品、ニンジン1品で「美味しくて」「簡単に作れて」「野菜がたくさん食べられる」「夏らしい」を選考基準に決定。
また、岸朝子会長のワンポイントアドバイスあり。
※のぼり、レシピはデータ参照。

食事バランスガイド

～不足しがちな副菜を夏の野菜でたっぷり～



厚生労働省・農林水産省決定

クール ペジ

冷房ほどほど



農林水産省「にっぽん食育推進事業」
制作／野菜等健康食生活協議会
(青果物健康推進協会)

